

陳 情 文 書 表

(令和5年12月1日)

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第38号 (5. 11. 22) 市バス運賃の値上げは中止し、長田・兵庫のバス路線の充実を求める 陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市バス運賃の値上げはしないこと。</li> <li>2. 長田・兵庫のバス路線の再編は、本数を減らさず利便性を向上させること。</li> <li>3. 市民の声を聞き、活かした使いやすいバス路線を作ること。</li> </ol>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市長田区 新日本婦人の会長田支部 中村 昌子</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>都市交通委員会</p>

2023年11月22日

神戸市会議長 坊やすなが 様

神戸市長田区

新日本婦人の会長田支部

中村 昌子



市バス運賃の値上げは中止し、長田・兵庫のバス路線の充実を求める陳情

【陳情趣旨】

現在開催されている神戸市交通事業審議会において、10月11日の第4回専門部会では、「将来にわたって公営交通として安全かつ安定的に事業を継続するためには、一定額について利用者への価格転嫁、つまり運賃の改定が不可避であることは本審議会委員の一致した見解である。」、「運賃改定額としては、単年度収支黒字化を当面の間継続し安定的経営を見込むという観点とともに、他事業者の運賃改定後額との整合の観点等から、少なくとも30円程度の改定を行うことが望ましいのではないかという意見が審議会部会において共有されたことを申し述べておく。」(36～39行目)との答申案が論議されています。

議事要旨によると、「具体的な改定額については、他の民間事業者等の改定額を踏まえ、30円程度という具体的な目安を記載している。細かくシミュレーションした訳ではないが、価格の弾力性や他の事業者の改定額からこの程度の改定が必要ではないかと考えている。」、「実際に細かくシミュレーションや議論しきっていない中で、240円といった数字が独り歩きしてもいけないので、あくまで30円程度という表現の方がいいのではと感じている。」、「答申としては詳細過ぎると感じており、36～39行目は無くてもいいのではないか。」など値上げについては具体的なシミュレーションや検討もなく、民間事業者の値上げに準じて答申を出そうとしています。

今、市民は物価高騰に悲鳴を上げています。そのような時に市バスの値上げはすべきではありません。

また、来年4月からの長田・兵庫のバス路線の再編も、現行5路線について一日100本を減らし、他路線への接続などをおこなうことになっていますが、先日おこなった出前トークでも「一日50本は減ることになる。」との答弁は納得できません。乗り換えなどの利便性が悪くなるとともに、これまでの本数縮小でバス離れが起きているのに、さらに全体の本数を縮小することは、さらに乗車数を減らす悪循環です。市民の声を聞き、活かした使いやすいバス路線への再考を訴えます。

【陳情項目】<sup>運賃</sup>

1. 市バスの値上げはしないでください。
2. 長田・兵庫のバス路線の再編は、本数を減らさず利便性を向上させてください。
3. 市民の声を聞き、活かした使いやすいバス路線を作ってください。

以上